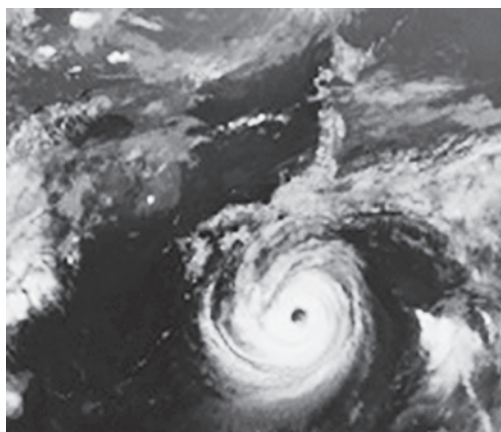


# 防災を考える。

～ vol.5 ～



東日本大震災から3年を経過した今、あらためて防災について考えてみましょう。

## ◎「風水害」を乗り切る

風水害は突然やってくるわけではありません。それだけに普段からの備えや、直前の準備が災害防止に役立ちます。気象情報にも注意して風水害を乗り切りましょう。

## 「台風」

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、

### ■台風と熱帯低気圧の表現

最大風速	表現
17m/s未満	熱帯低気圧
17m/s以上	台風

※m/s…メートル/秒

### ■風と被害

風速	被害
10m/s以上15m/s未満	傘がさせない。風に向かって歩きにくくなる。
15m/s以上20m/s未満	転倒する人も出る。風に向かって歩けない。
20m/s以上25m/s未満	体をしっかり確保しないと転倒する。
25m/s以上30m/s未満	立っていられなくなる。
30m/s以上	屋外での行動は危険。

### ■大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

### ■強さの階級分け

階級	被害風速 15m/s以上の半径
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

### ■1時間雨量の目安と降り方

1時間の雨量	雨の降り方
10mm以上20mm未満	【やや強い】ザーザーと降る
20mm以上30mm未満	【強い雨】どしゃ降り
30mm以上50mm未満	【激しい雨】バケツをひっくり返したような雨
50mm以上80mm未満	【非常に激しい雨】滝のように降る雨
80mm以上	【猛烈な雨】大規模災害発生の恐れが強い

(気象庁資料から抜粋)

強風と大雨により何度も大きな被害をもたらします。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。台風の大きさは「風速毎秒15メートル以上の半径」「強さは「最大風速」で表されています。

## 「集中豪雨」

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終

わりごろによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難です。中小河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予測されます。がけ付近や造成地、扇状地などは気象情報に十分注意し、万全の対策を取るようにしましょう。